

宝塚歌劇花組公演 8月22日(日)貸し切り公演実施

夢の世界へと誘ってくれる豪華なステージを

サンケイリビング新聞社

宝塚歌劇創立90周年の幕開けを飾った花組が、再び宝塚大劇場の舞台上に登場します。三井住友VISAシアター ミュージカル・ロマン『La Esperanza(ラ・エスペランサ)』—いつか叶う—、レビュー・ファンタジア「TAKARAZUKA舞夢(マイム)！」を控えた花組トップスターの春野寿美礼さんに、作品の見どころなどを聞きました。



情熱的なダンスを、

気持ちよく踊りたいです

夏空のようなブルーのシャツ姿で、さわやかに現れた春野さん。舞台上では、ときにはクールに、またときにはセクシーに……と、さまざまな男性を演じ、観客を魅了しています。男役として目指すことは、「外見的には、黒エンブレ服とスーツを着るときは、ピシッと決めるように。あとは、男役というよりも、一人の間として、舞台上立つたときも舞台上立っていないときも、ちゃんと心のある行動をとりたいと思っています」と、トップスターらしい、自分に厳しい一面が垣間見られるコメント。

そんな春野さんは、『La Esperanza』のYOSHIDA KIKIさんが新曲を提供することも話題のひとつ。「X JAPAN」のファンだったという春野さんは、「YOSHIDA KIKIさんが作る曲がすごく好き。曲はダイナミックなのに歌詞にはリアリティがあるところが、タカラヅカと共通する部分だな。ずっと、『絶対にタカラヅカに合うよ』と想っていたので、このような形で楽曲を提供してもらえて、本当にうれしいです。スクールの大きなギリシヤ神話ともピッタリだと思えますよ。」

一方、ギリシヤ神話をモチーフに、天地創造や愛を壮大に描くレビュー、「TAKARAZUKA舞夢」。

また、今回の公演には、月組・霧矢大夢さん、宙組・水夏希さんが、特別出演。

「ふたりとも元花組ですが、今の花組にはいないタイプなので、新しい風を吹き込んでくれそう。組のみんなも影響を受けると思うし、自分も新鮮な気持ちになれると思います。この特別出演をはじめ、イベントなど、「90周年」ならではの企画も多い一年。歴史にはぐくまれた舞台上に立つ上で特別な思いなども……」

「舞台では普段と変わらない気持ちでやっています。90年というのは、やっぱりすごい。長い歴史の中で、タカラヅカの舞台上に立たせてもらっていることに感謝していますし、そんな劇団にいることを誇りに思っています」。劇団への思いを、言葉を選びながら、うねうねと話す春野さんからは、タカラヅカとしての真摯な姿勢が感じられます。

「お客さまに夢を見ていただくという気持ち一つ。舞台上では、とにかくみなさんに楽しんでもらいたい、夢を見てもらいたい、という思いでやっています。最後に読者のみんなにメッセージをお願いします。『真夏の暑い盛りに、ホットでクールな夢を見ていただけたらと思います。ぜひ、観劇ください！』と、春野さんが夢の世界へと誘ってくれる夏の公演、楽しみですね。」

とにかくみなさんに

夢を見てもらいたい

HAPPYな企画がいっぱいの貸し切り公演実施

サンケイリビング新聞社では、8月22日(日)に、花組の貸し切り公演を実施します。当日は、遙洋子さん司会のトップスターインタビューや豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会など、貸し切り公演ならではの企画も。この機会に、夢あふれるタカラヅカの世界を体験してみませんか？

日時 8月22日(日)午後3時開演
会場 宝塚大劇場(阪急・JR宝塚駅歩5分)
料金 A席5500円、B席3500円。※S席は売完。いずれも予定枚数になり次第終了。

宝塚歌劇花組
貸し切り公演
申し込み方法

日・祝日除く、午前10時～午後5時(土曜は正午まで)に、郵便振り込み、銀行振り込み、クレジットカード決済のいずれかの支払い方法別に電話受け付け。

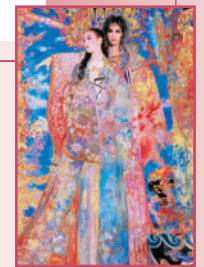
①郵便振り込み＝☎06(6440)0500
申し込み後3日以内に、人数分の料金を郵便手数料300円を加えた金額を、郵便局備え付け用紙で、郵便振替口座「サンケイリビング00910-9-70064」へ。

②銀行振り込み・クレジットカード決済＝☎0570(00)7700
申し込み後3日以内に、人数分の料金を郵便手数料300円を加えた金額を、東京三菱銀行新丸の内支店・普通口

座4039103(株)サンケイリビング新聞社)へ。クレジットカード(VISA、JCB、NICOSなど)による支払いも可能。

※この電話はPHSからの通話不可。
※入金後のキャンセル・変更は不可。チケットの発送は、実施日の約2週間前です。配席はおまかせください。

このほかインターネットでも予約受け付け可。詳細はホームページ(<http://www.ticket-fan.com>)で確認を。



©宝塚歌劇団

©YOSHITAKA AMANO 2004